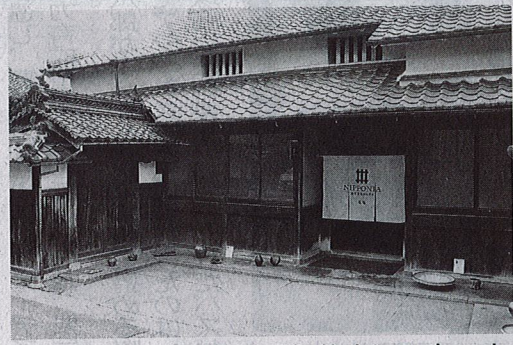
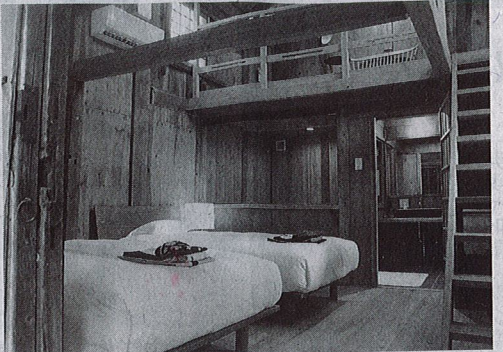


# 10月3日 NIPPONIA 福住にオープン



3日にオープンする「福住宿場町ホテル NIPPONIA」=篠山市福住で

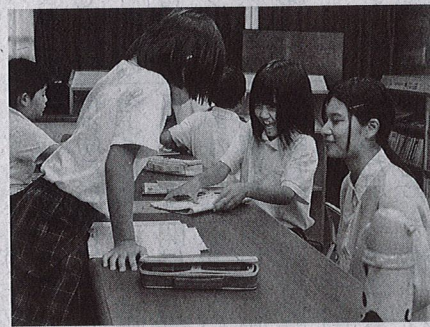


蔵を改装した客室

国の伝統的建造物保存地区に指定されている篠山市福住地区に10月3日、古民家を宿泊施設に改修した「福住宿場町ホテル NIPPONIA」がオープンする。株式会社NOT E(本社・篠山市立町、藤原岳社長)が開発し、バリニューマネジメン株式会社(本社・大阪ト市、他力野淳代表取締役)

篠山市街地内で同様に古民家を改修した「篠山城下町ホテル NIPPONIA」があり、「福住宿場町ホテル」としては、1号店となる。今後、2020年までに福住地区で新たに3棟を開業する予定。

## 大芋小校舎へ“帰宅” 児童14人が通学合宿



大芋小校舎に“帰宅”後、大学生(右)と宿題にとりかかる児童たち=篠山市中

大芋地区に住む児童たちに8年間続き、昨年、2017年が旧大芋小学校舎で寝泊まりしながら多紀小学校に通う「通学合宿」が27-29日に行われた。大芋活性化委員会(村山紳一委員長)の中の有志でつくる実行委員会(江坂道雄委員長)の主催。1-5年生までの14人が参加。共同生活を送りながら思い出に残るひとときを過ごした。

閉校前の大芋小学校時代には福井公民館を拠点として、2000円から2人1室利用時、朝夕食付)米蔵、油問屋だった頃の作業場なども客室にし、全7室(36-86平方メートル)を改装した。レス6室)を整備した。レストランでは丹波焼の食器が使用される。1人3万円。前11時-午後8時。

大芋小校舎に“帰宅”後、大学生(右)と宿題にとりかかる児童たち=篠山市中

## 丹有へ熱戦展開

### 市中学生新チーム8種目で



気合を入れて懸命にプレーする卓球の選手=篠山市郡家で

篠山市中学校新人体育大会が28日、市内の中学校や体育施設で始まった。選手たちは、3年生の引退後、新チームに移行してからの練習の成果を発揮し、14日から始まる丹有大会をめざし、熱戦を繰り広げた。(4日)

卓球、剣道、陸上の8種目があり、三木総合競技場で行われる。各会場の気合のと、チームの士気を高める声援が、各校の応援が、原4-1明(ラウンド)

たんばスポー

京都の茶農家は、茶農家を支援する取り組みを始めたが、今回は足元の産業や事業をつなぐことが重要と見え、その気運をつくる一歩になればと企画した。



京都の茶農家は、茶農家を支援する取り組みを始めたが、今回は足元の産業や事業をつなぐことが重要と見え、その気運をつくる一歩になればと企画した。